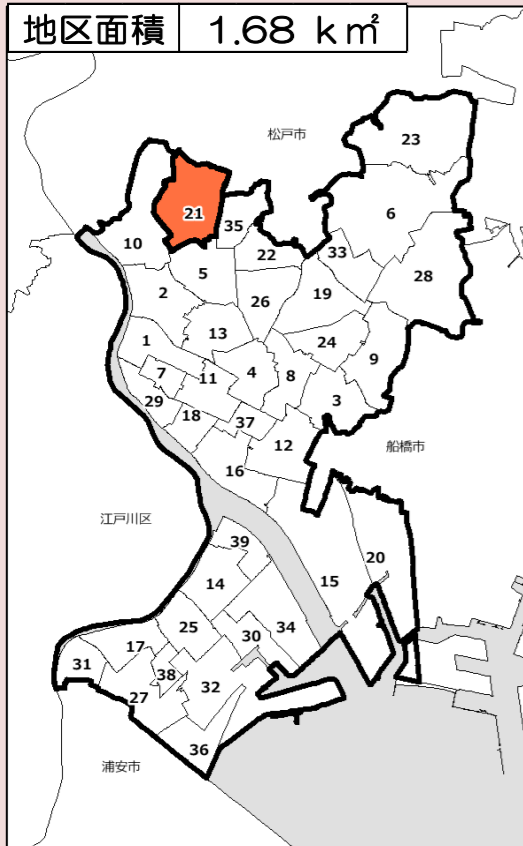


# 21 中国分小学校区

## (1) 位置



## (2) 地区概況

### ◆位置

中国分小学校区は市の北西部に位置し、地区の東側は国分川に面しています。また、地区の北側は松戸市が隣接しています。

### ◆地形・土地利用

地形は、西側は平坦な台地、東側は氾濫平野で構成されています。地区の西側は第一種低層住居専用地域等の住宅地となっており、戸建て住宅等が建ち並んでいます。また、地区内の一部地域では風致地区に指定されており、落ち着いた街並みが広がっています。

### ◆都市基盤

地区内の北側の一部は、土地区画整理事業により整備されています。地区の南から西にかけて外環道路が通っています。外環の北側には、堀之内貝塚公園があり、公園内に歴史博物館と考古博物館があります。また、地区の北側には北総線が通っており、北国分駅があります。地区内には、JR市川駅と北総線北国分駅を結ぶ京成バスも通っています。

## (3) 人口・建物概況

### ◆人口

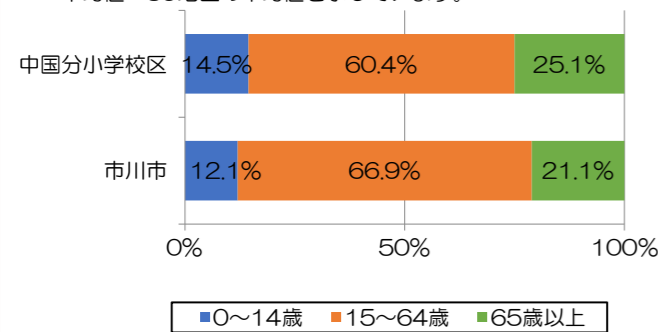
#### 年齢別割合

	中国分小学校区	市川市	割合*
人口総数	8,965人	487,621人	1.8%

※割合：市全体の総数に対する地区総数の割合

平均値 12,503人

平均値：39地区の平均値を示しています。



### ◆建物

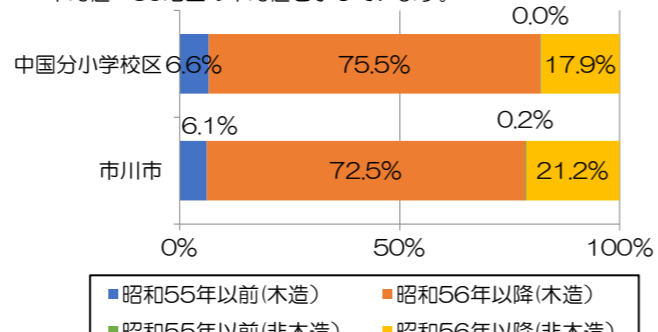
#### 構造別割合

	中国分小学校区	市川市	割合*
建物総数	3,006棟	114,958棟	2.6%

※割合：市全体の総数に対する地区総数の割合

平均値 2,948棟

平均値：39地区の平均値を示しています。



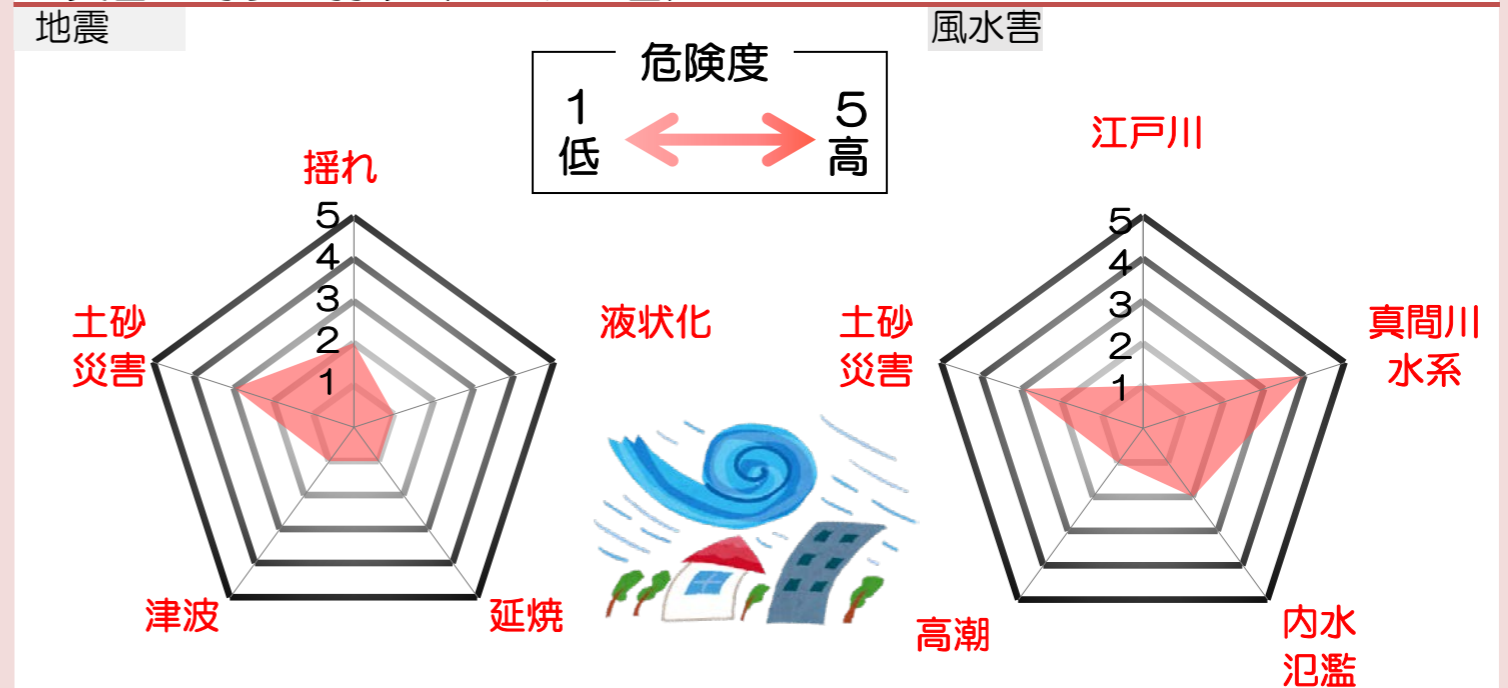
地区の人口は、全地区の平均人口より少ないです。また、市全体と比較すると15~64歳の割合が低く、比較的若い世代が少ない地区となっています。

地区の建物は、全地区の平均棟数よりやや多いです。市全体と比較すると昭和56年以降の新耐震基準の建物割合がやや低いです。また、木造建物がやや多い地区となっています。

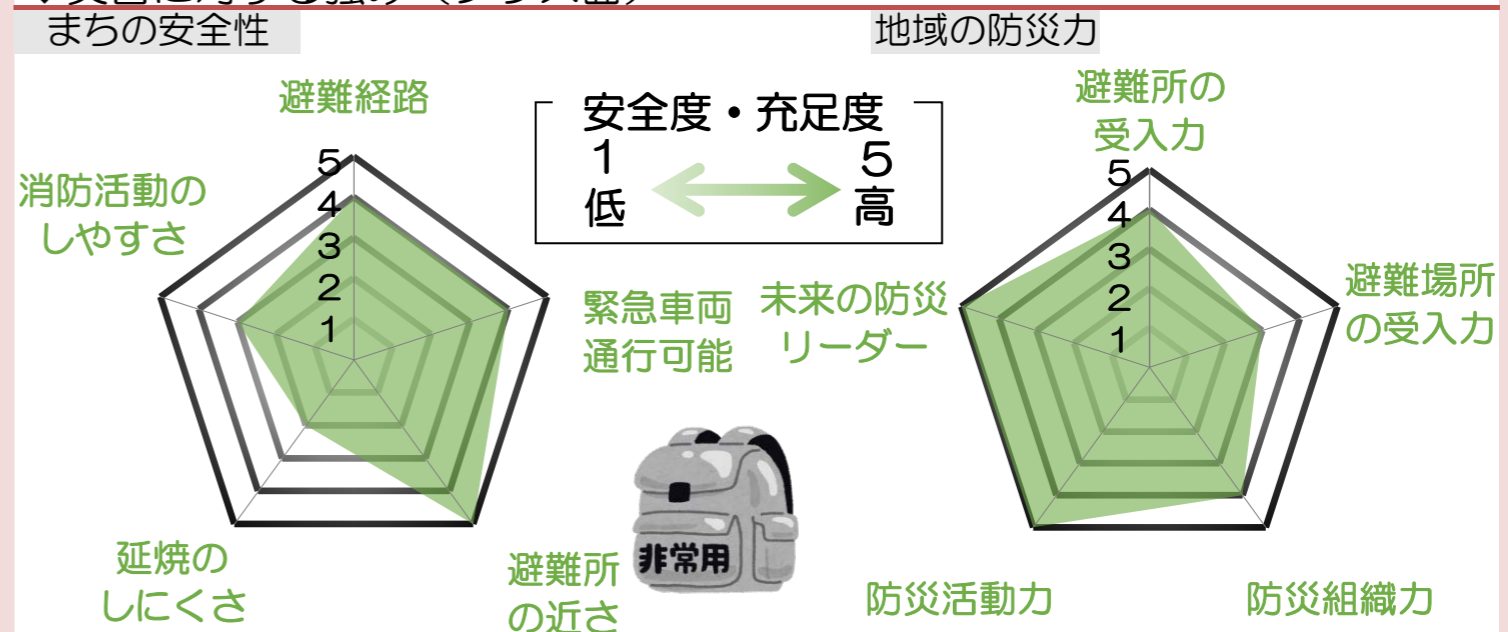
## (4) 災害リスク評価

災害に対する弱み（マイナス）については、5に近づくほど危険度が高くなり、災害に対する強み（プラス面）については、5に近づくほど安全度や充足度が高くなります。災害リスクは、後述の地震被害想定や浸水想定の結果、各地区の現況データを用いて相対的に評価しています。なお、危険性がない場合でも1となります。

### ◆災害に対する弱み（マイナス面）



### ◆災害に対する強み（プラス面）



### ◆評価

中国分小学校区は、地震災害については、最大震度6弱の揺れが予測され、がけ崩れ危険区域があることから、土砂災害による危険性が高い傾向にあります。また、風水害については、真間川から分岐する国分川に面していることから、河川の氾濫による危険性が比較的高い傾向にあります。

一方で、まちの安全性については、避難所の近さは高い傾向にあるものの、延焼のしにくさは低い傾向にあります。また、地域の防災力については、防災活動力や防災活動力、避難所の受入力は高い傾向にあります。

## (5) 防災関連施設

### ◆避難所及び福祉避難所

施設名	福祉避難所	施設名	福祉避難所
中国分小学校	-		
西部公民館	-		
市川考古博物館	-		
市川歴史博物館	-		
明松園	○		

### ◆避難場所

名称
中国分小学校
西部公民館
市川考古博物館
市川歴史博物館

### ◆地区内の主な施設

種別	施設名	施設名	種別	施設名
要配慮者利用施設(公設)	なし		医療救護所	なし
			関連施設	なし
			-	
			-	
			-	

要配慮者利用施設(民設)

1



※要配慮者利用施設は浸水想定区域内に立地する施設を示しています。

## (6) 被害想定結果(地震・風水害)

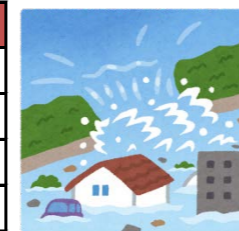
### ◆地震災害(被害を受ける割合)

想定項目		中国分小学校区	市川市全体
建物被害	全壊棟数の割合(揺れ・液状化・急傾斜地崩壊)	1.6%	3.3%
	半壊棟数の割合(揺れ・液状化・急傾斜地崩壊)	10.8%	15.6%
	焼失棟数の割合	2.1%	5.5%
	浸水棟数(津波)の割合	0.0%	1.0%
人的被害	死者の割合	0.0%	0.1%
	負傷者の割合	4.1%	7.3%
	避難者の割合	0.7%	0.9%



### ◆風水害(被害を受ける割合)

想定項目		中国分小学校区	市川市全体
建物被害	浸水棟数(江戸川)の割合	0.0%	52.0%
	浸水棟数(真間川)の割合	3.9%	13.6%
	浸水棟数(内水)の割合	0.0%	20.5%
	浸水棟数(高潮)の割合	0.0%	1.5%



市全体の結果と比較すると、地震災害については、建物棟数は多いですが、地形が台地であることもあり、建物被害はやや少ない傾向となっています。また、人的被害については、死者、避難者はほぼ同程度ですが、負傷者については、市全体よりやや低くなっています。

一方で、風水害については、国分川に面していることもあり、一部浸水はあるものの、台地であることから、市全体と比較して浸水棟数も少なくなっています。

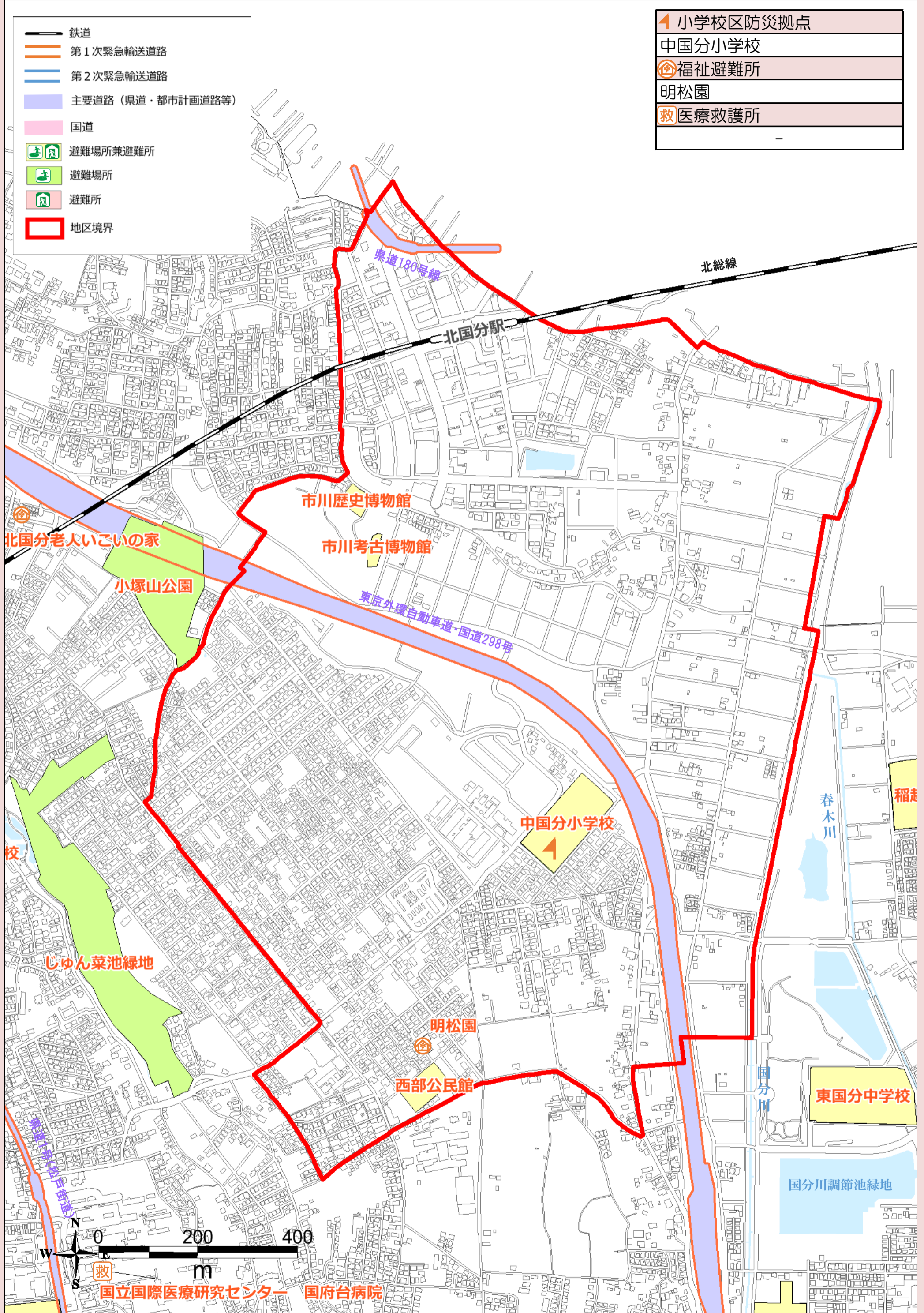
## (7) 防災上の課題

項目	課題
地震	地区全域において、震度6弱の揺れが予測され、地区内にがけ崩れ危険区域があることから、土砂災害による危険性も想定され、土砂災害発生による避難対策が必要です。
風水害	地区の東側に国分川が面していることから、浸水被害の恐れがあり、浸水対策や円滑な避難に備えることが重要です。
まちの安全性	延焼遮断となる空地が少ないことから、延焼がしやすく、延焼対策が必要です。また、水利施設が少なく、消防活動のしやすさは少し低いことから、初期消火対策が重要です。
地域の防災力	地域の防災力については、評価項目が総じて平均よりやや高い傾向にありますが、その中では、避難場所の受入力がやや低い傾向にあり、自宅での在宅避難や地区外での避難に備えることが重要です。

## (8) 防災対策の方向性

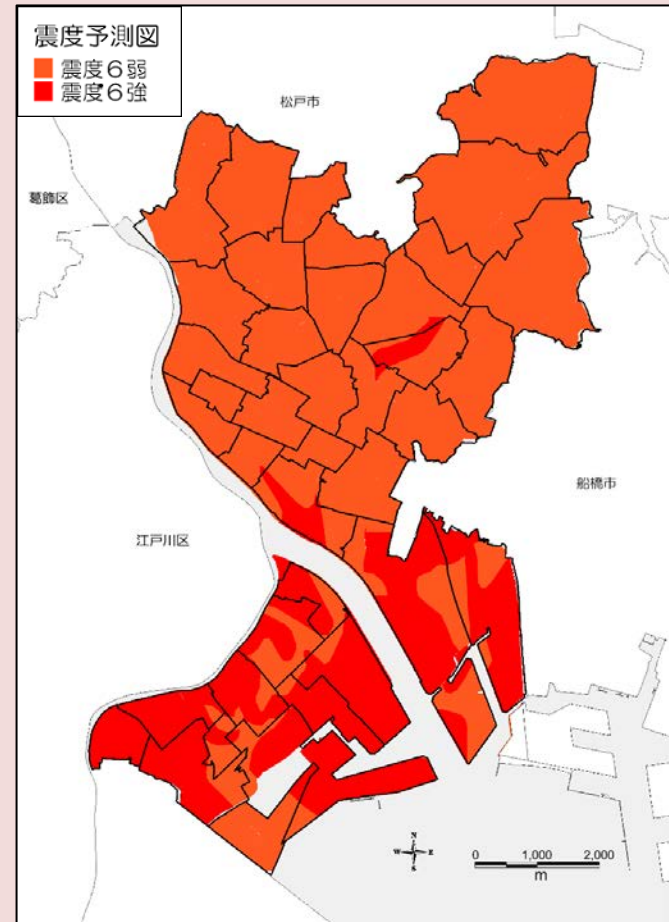
項目	取組の方向性
地域の取組	<p>地区内にはがけ崩れ警戒区域があるため、あらかじめ地域間で危険箇所等を共有しておく必要があります。災害時に負傷者や火災が発生した場合、即座に応急手当や初期消火ができるように、高い防災組織力を活かし、地域で初期対応の訓練を実施するなどの対策が効果的です。</p> <p>真間川水系の氾濫による浸水が想定されることから、洪水時の避難場所等も確認し、あらかじめ避難する場所について地区の中で情報共有を行うことが重要です。消防活動のしやすさが低いことから、地域内で家庭用消化器の設置に関する呼びかけや地域ぐるみで市が開催する防災訓練への積極的な参加を行っていくことが重要です。</p>
個人の取組	<p>地震に対する備えとしては、市の助成制度である「耐震改修助成制度」を利用した耐震改修工事による自宅の耐震化対策や、「あんしん住宅助成」を利用した感震ブレーカーの設置、自宅(家庭)の防災性を向上させることが効果的です。</p> <p>一方、風水害に対する備えとしては、市の助成制度である「あんしん住宅助成」を利用した防水板の設置、土のうステーション等を利用した土のうの設置による浸水対策や、円滑に避難できるよう市からの情報収集方法や、浸水想定区域外での避難場所等をあらかじめ洪水ハザードマップ等で確認しておくことが効果的です。</p> <p>避難経路の確保ができない可能性が考えられることから、まちあるき等を通して避難経路についてあらかじめ決めておくことが必要です。</p> <p>消防活動のしやすさが低いことから、住宅用消火器を設置する等、初期消火等の対策を行うことが必要です。また、住宅用火災警報器の設置を行う等、火災発生時の逃げ遅れ対策を行うことが重要です。</p>

# (9) 防災マップ



# (10) 基礎資料

## ①市全域の震度分布図



本カルテには、東京湾北部を震源域とする地震が発生した場合の結果です。震度分布図を見ると、市の北部は震度6弱、南部は震度6強と予測されています。

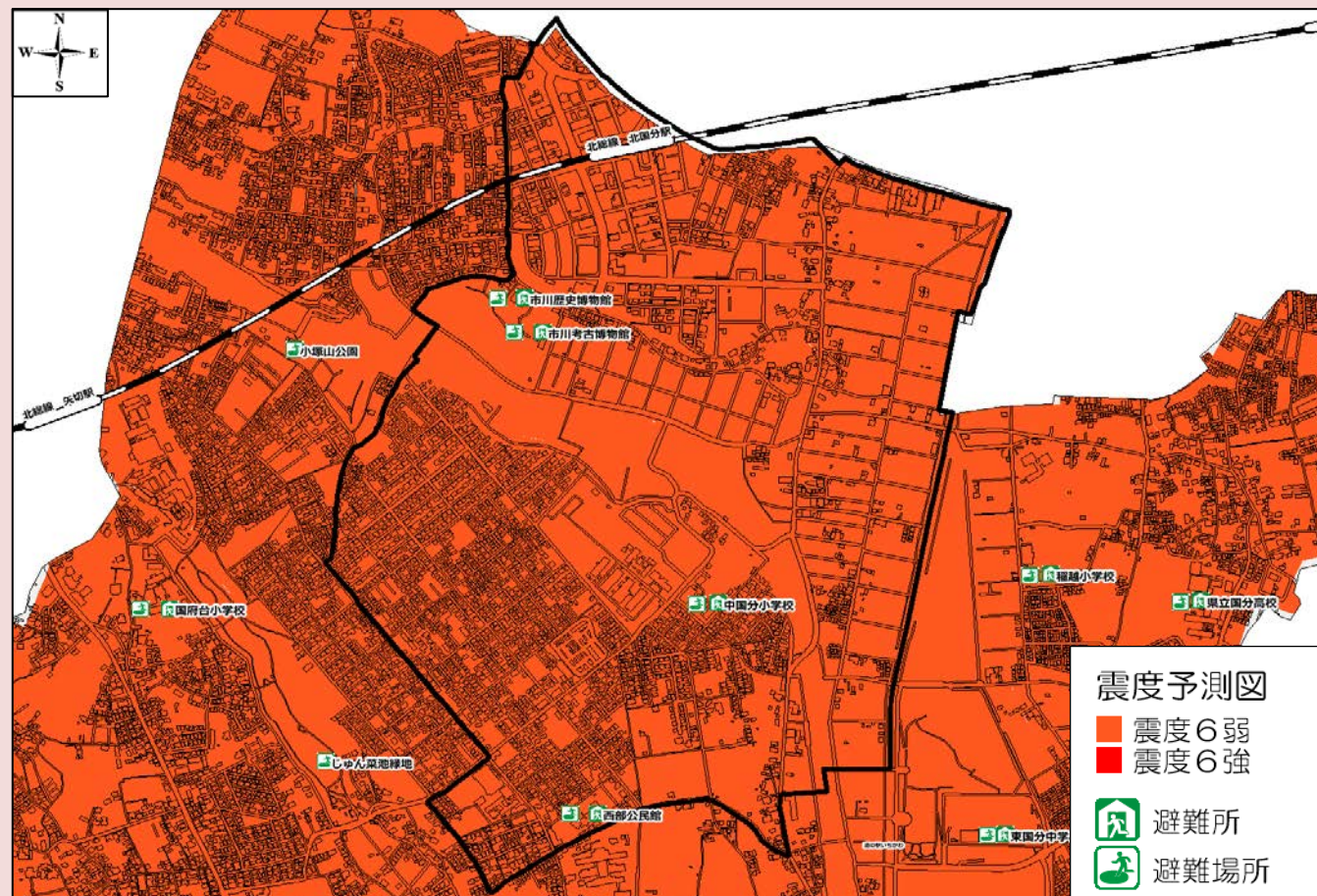
想定地震	東京湾北部地震
マグニチュード	7.3 (震源深さ：20km程度)

### ▼震源

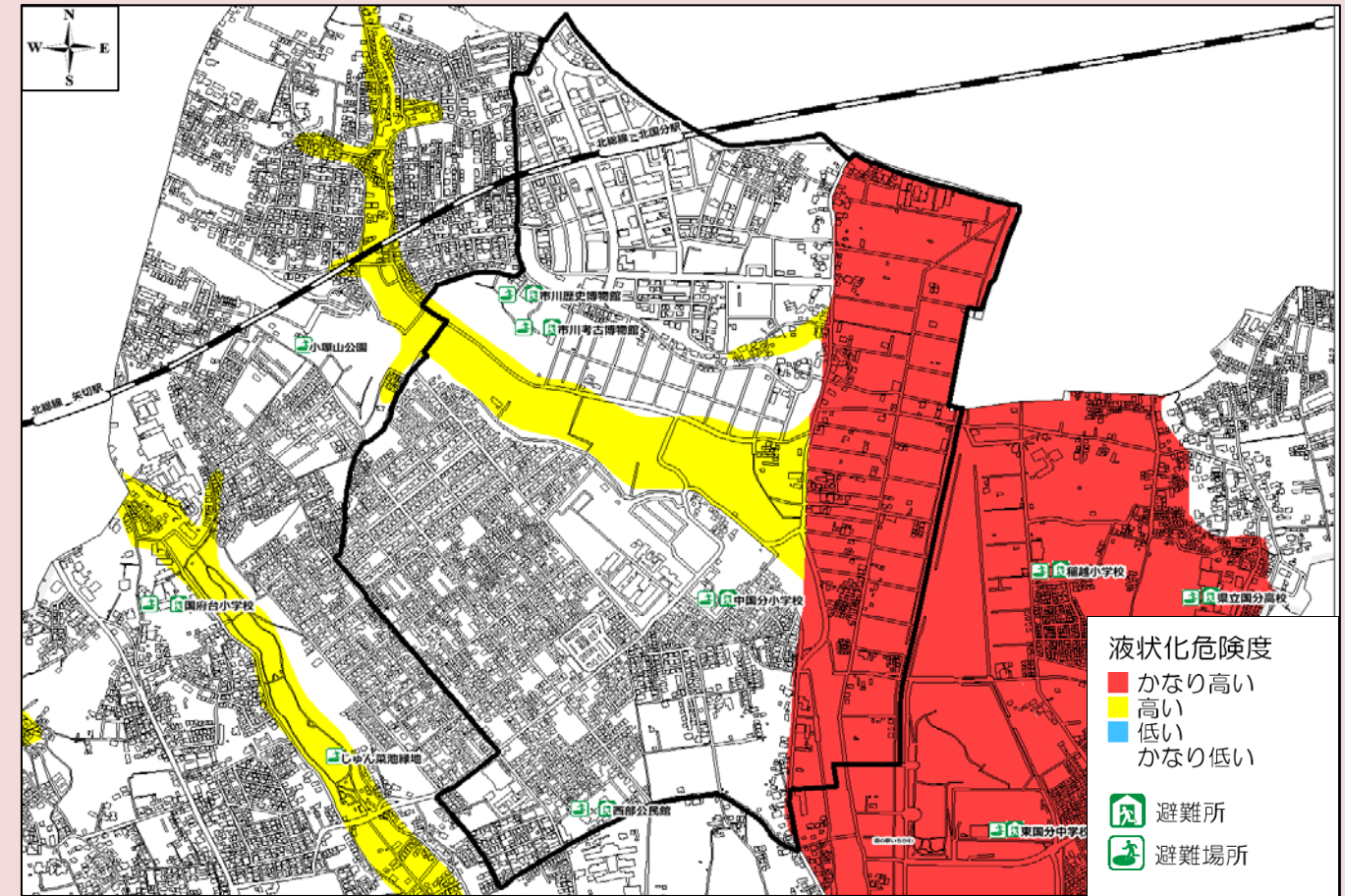


※本結果は市川市地震被害想定結果（平成24年度）に基づいています。

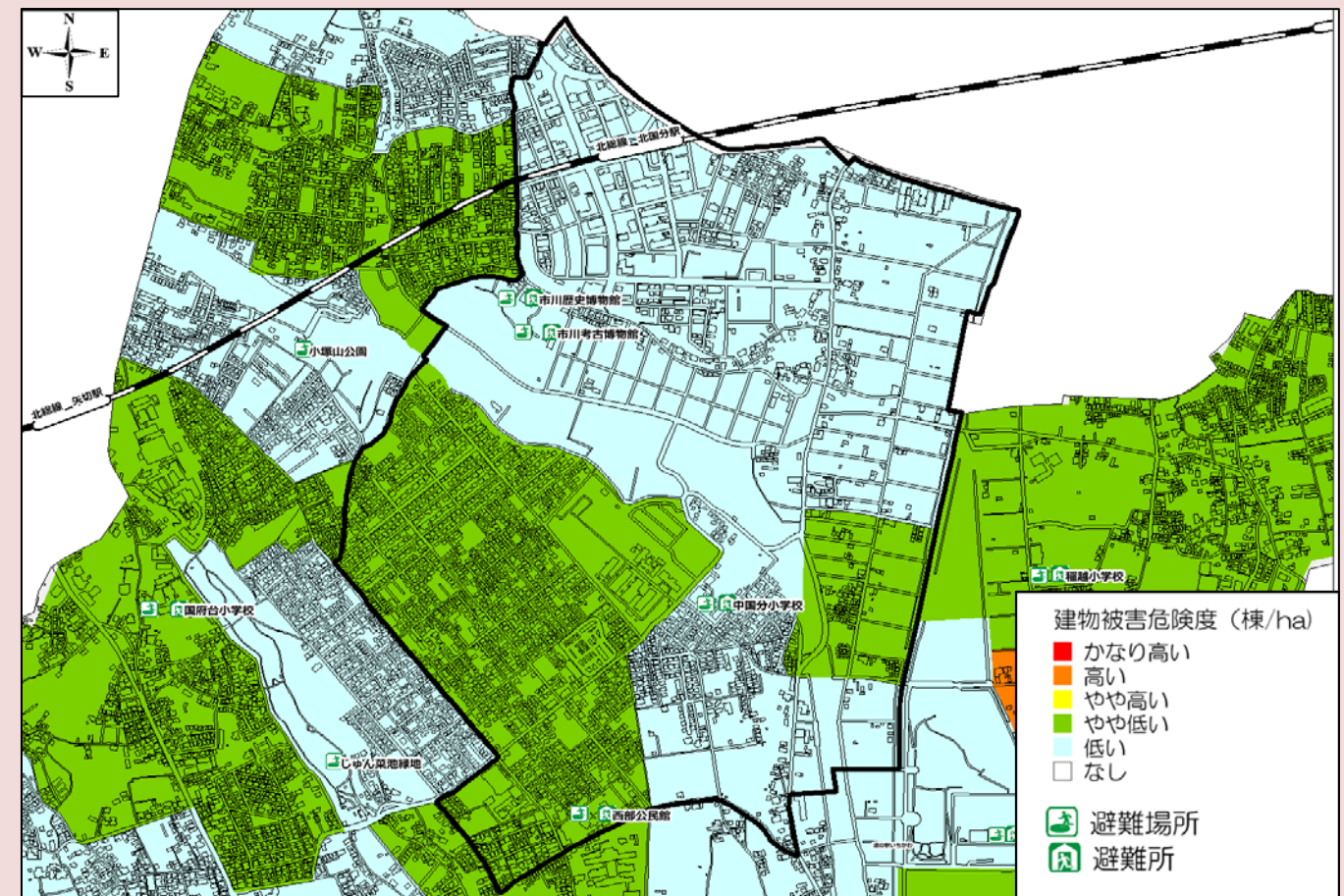
## ②震度分布図



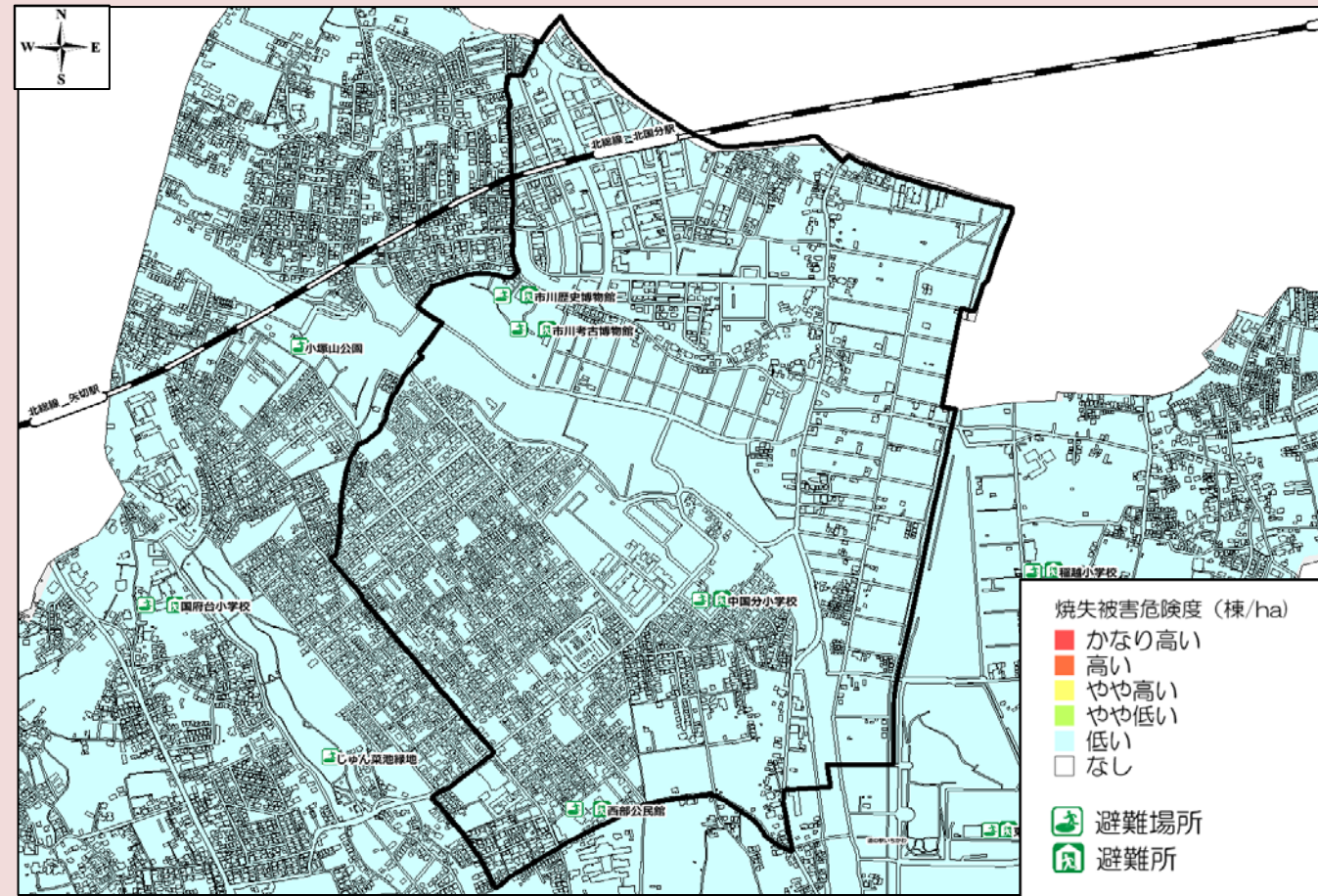
## ③液状化危険度



## ④建物被害（揺れ・液状化による被害）



### ⑤建物被害（延焼による被害）



### ⑦浸水想定の概要

江戸川の氾濫及び真間川の氾濫、内水の氾濫、高潮による浸水想定区域を示しています。

災害時にすばやく避難できるようにあらかじめ近隣の避難所及び避難場所について確認しましょう。

また、避難経路上の浸水状況も確認しておきましょう。

#### 水の深さ

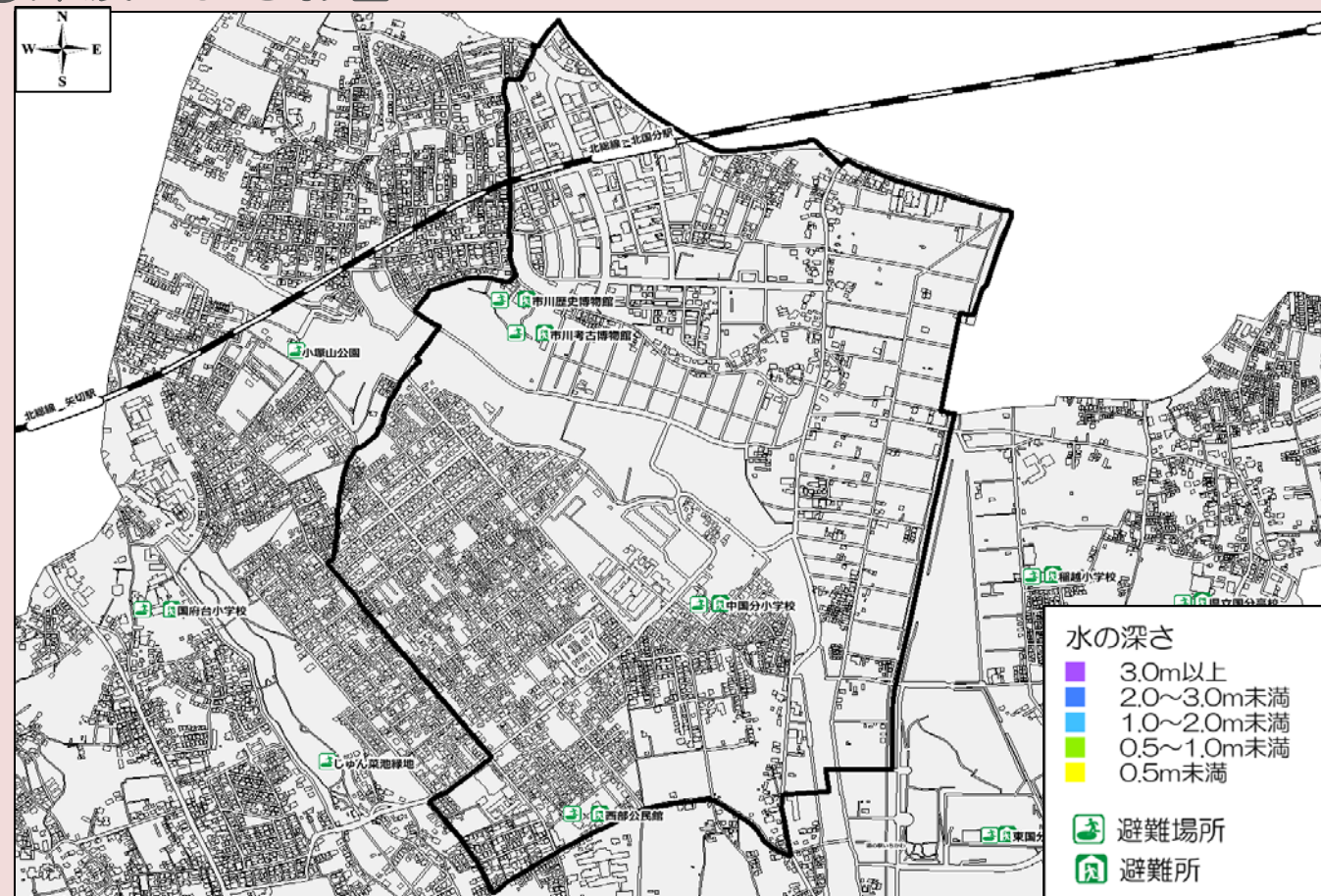
- 水の深さが3.0m以上
- 水の深さが2.0~3.0m未満
- 水の深さが1.0~2.0m未満
- 水の深さが0.5~1.0m未満
- 水の深さが0.5m未満

#### 浸水の目安



※浸水の凡例区分及び配色については市川市で任意に設定しています。

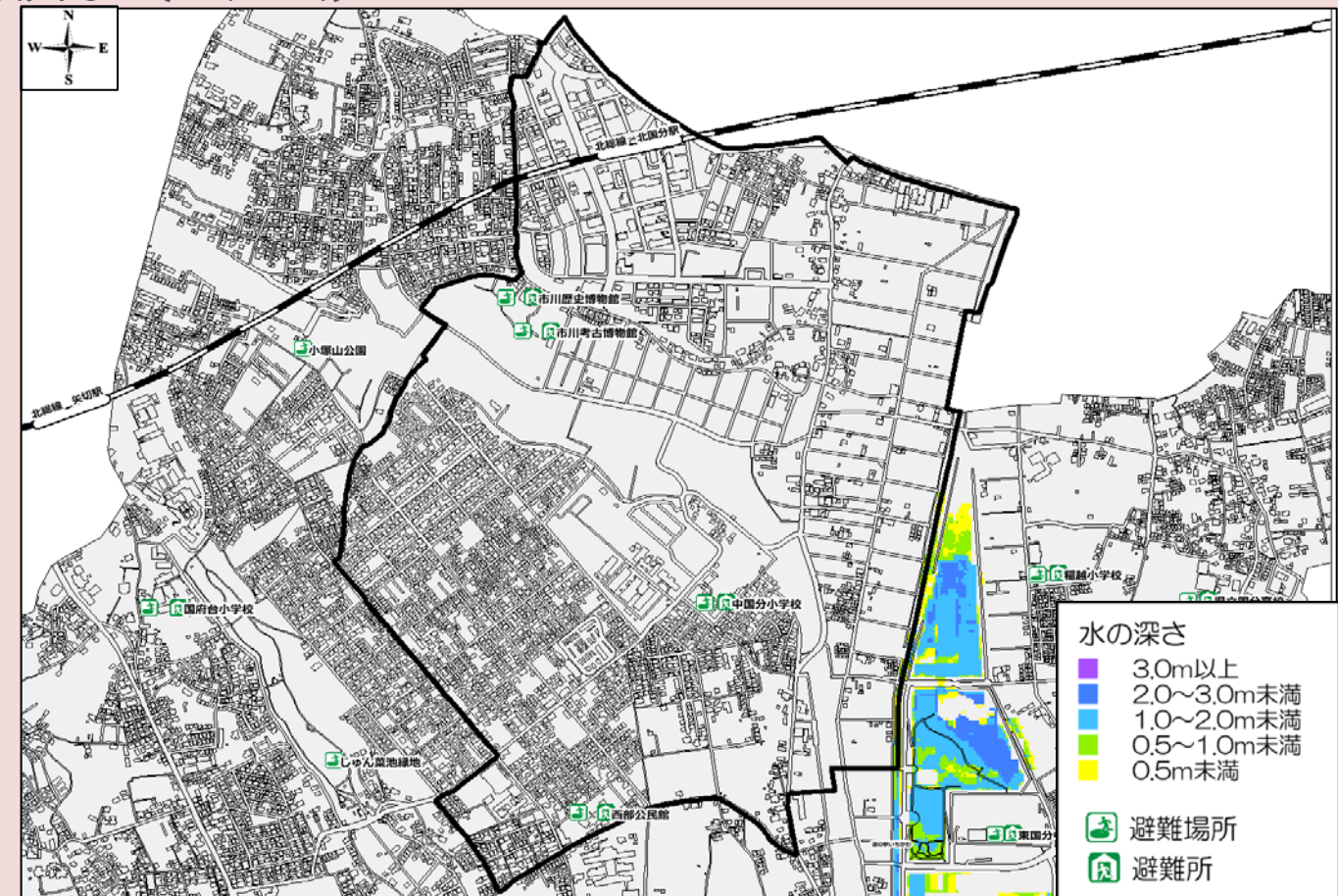
### ⑥津波による影響



※津波の河川遡上による市街地への影響はありません。

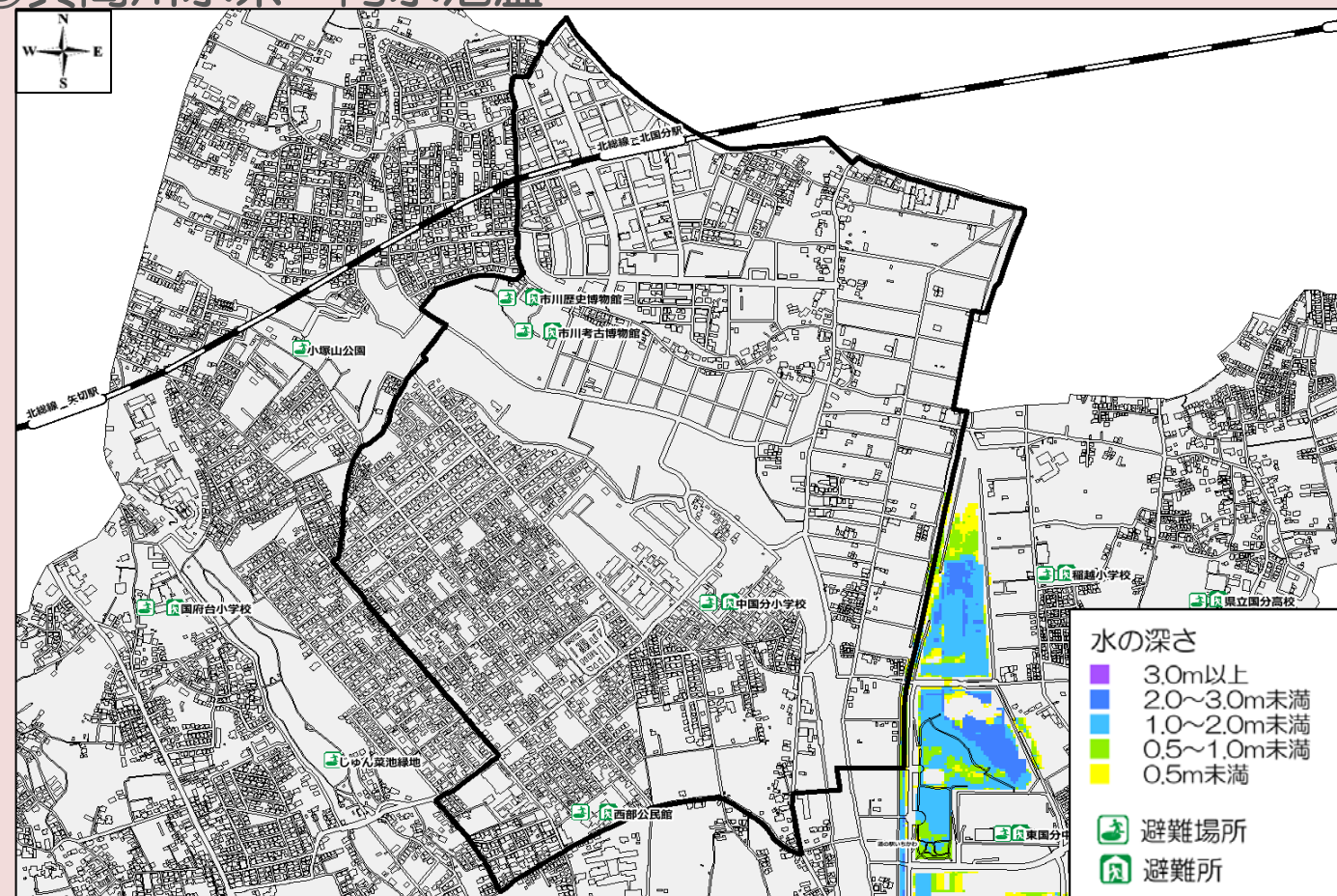
平成24年4月：千葉県

### ⑧洪水（江戸川）



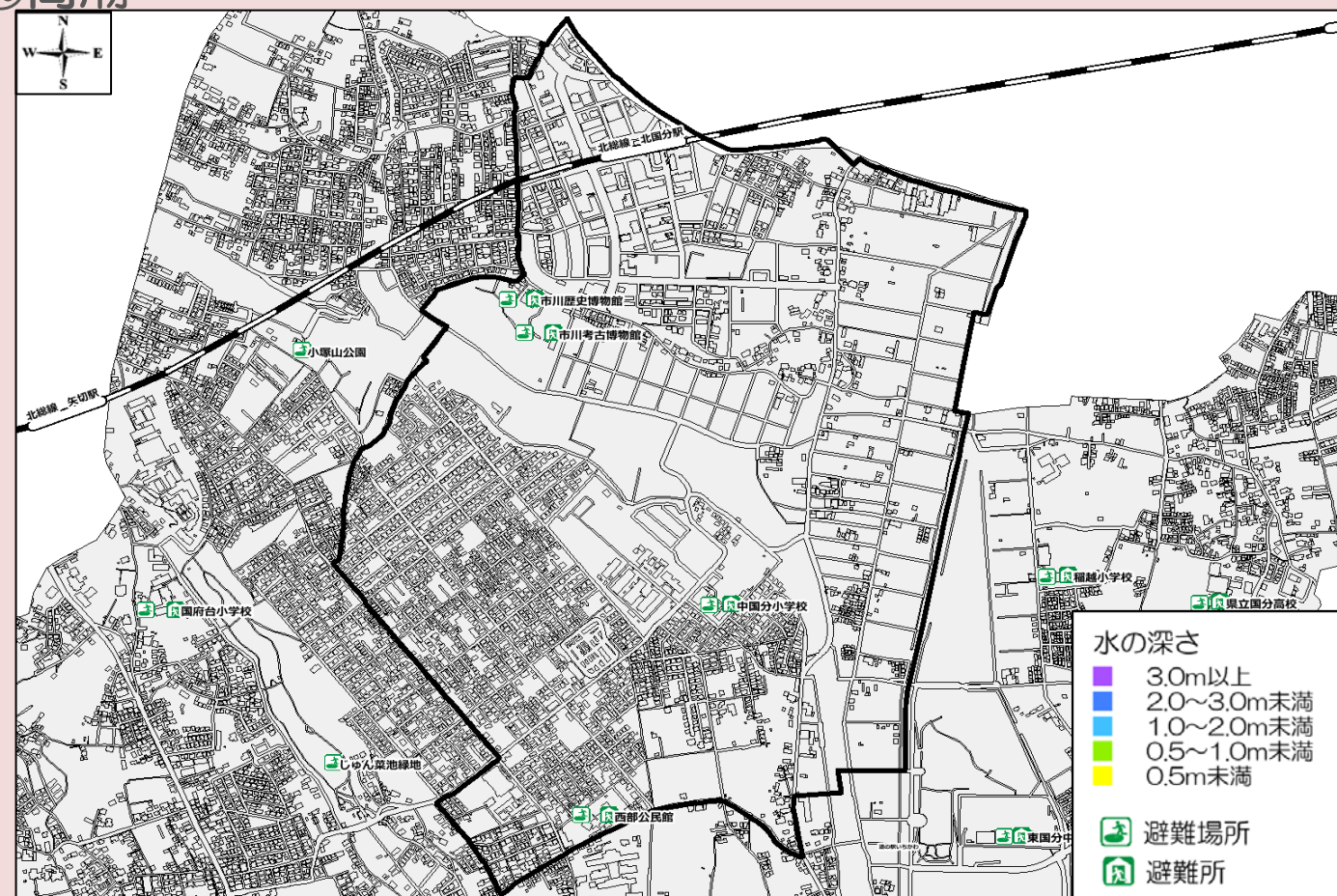
平成29年7月：国土交通省

### ⑨ 真間川水系・内水氾濫



平成18年3月：千葉県、市川市

### ⑩ 高潮



平成21年4月：国土交通省

### ◆メモ

